



2017 第4回福岡県 木造・木質化建築賞



ご挨拶

森林は、再生可能な資源である木材の生産だけでなく、おいしい水や新鮮な空気の供給、土砂災害の防止など多面的な機能を有しており、私たちの安全・安心な暮らしを支える上でさまざまな役割を果たしています。

本県の人工林では、7割以上が利用可能な時期を迎えており、県では、この森林資源を有効に活用するため、「福岡県農林水産振興基本計画」に基づき、県有施設の木造・木質化を進めるとともに、県産木材を活用した家具の販路開拓につながる全国規模の商談会への出展を支援するなど、県産木材の需要拡大を図っています。

これらの取り組みに加え、民間や市町村施設についても木造・木質化を推進するため、そのモデルとなる優れた建築物を「福岡県木造・木質化建築賞」として表彰しています。



福岡県知事
小川 洋

第4回となる今回も、住宅や学校、医療施設といった幅広い分野から応募いただき、選考委員会の厳正な審査を経て、大賞2点、優秀賞2点、今回新たに創設した特別賞2点、奨励賞3点、計9点の建築物を「福岡県木造・木質化建築賞」に決定しました。受賞された建築物はいずれも木のぬくもりや美しさといった、木材ならではの特徴を生かした素晴らしいものです。ぜひお近くに行かれた際にはご覧いただきたいと思います。

今後も県産木材の需要拡大に向けた取り組みを進めてまいりますので、皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

選考委員の皆さまのご尽力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募いただいた皆さまの、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

総評

7月の九州北部豪雨災害で朝倉市、東峰村、添田町は甚大な被害を受けました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。豪雨により山間部からは土砂とともに流木が押し寄せ被害が増大したと言われております。成熟したスギやヒノキが長いまま住宅地に流れてきました。被災された方々の木に対する思いが変わった出来事であったと残念に思います。この不幸な出来事は未来の世代にも風化させず伝えつなげていかなければいけません。災害を防ぐ生活環境の整備とともに、木とこれからどのように向き合っていくのかも考えていく機会にすべきです。適正に管理された森林は地球温暖化につながる二酸化炭素を固定化し、我々にかげがえのない水を授け、県土保全にも大きな役割を果たします。地域材などを積極的に使った優れた建築物を、この福岡県木造・木質化建築賞を通じて広めることにより、林業の活性化が図られ、災害に強い森林づくりに繋がっていくものと信じています。

今回の選考から、積極的な木材の利用を促進するため特別賞が設けられました。これは、大賞、優秀賞以外の建築物のうち、新たな木材需要の創出に寄与するもの等優れた建築物に授与される賞です。

本年度は総数20点の建築物を選考しました。

第1次選考では、6名で構成する選考委員会によって平成29年11月21日に書類審査を実施し、協議および投票によって木造の部6点、木質化の部3点、合計9点の建築物を現地審査の対象に出しました。応募された建築物は、飲食店、戸建住宅、集合住宅、保



福岡県木造・木質化建築賞
選考委員会
委員長 藤本 登留

育施設、会社事務所、緩和ケア病棟、診療所、休憩所、福祉施設、幼稚園、学校施設、集会場、ゴルフクラブハウス、火葬施設、図書館、浴場と、用途や趣が異なる建築物に木材を巧妙に使った興味深い作品ばかりでした。

第2次選考となる現地審査は、12月18日、25日の2日間にかけて実施しました。対象の9点の建築物を現地審査したうえ、審査委員会で協議および投票によって木造の部、木質化の部の大賞、優秀賞のほか、特別賞2点、奨励賞3点の受賞建築物を決定しました。木造の部の大賞は、伝統工法を駆使した緩和ケア病棟です。安住の場所としての建築計画のなかに木材の優れた性能を活かした建築で、内装材のみならず良質なヒノキ構造材を現しで表現されており、木造の美しさとともに病棟建築における安らぎ空間を実現しています。木質化の部の大賞には、はじめて戸建て住宅が選ばれました。大川の建具職人の技術も取り入れたスギ小割材の室内ルーバーを駆使した室内は、和風でありながらモダンな木質化の先進的事例と評価されます。木材の主要な用途は住宅をはじめとした建築用材ですが、その中でも、今後普及が期待されるリノベーション分野での地域材利用に応用可能な素晴らしい作品です。

今回から設けられた特別賞には2点が選ばれました。国産材で製造できる新たな木材製品として注目されているCLT(Cross Laminated Timberの略(直交集成板))を福岡県ではじめて使用した2階建て事務所建築物と、地域材で在来工法により建築された3階建て木造市営住宅です。いずれも地域材の新たな用途拡大に寄与する建築物です。

それでは今回も受賞作品として木造・木質化の魅力あふれる9点のモデル的な建築物をここにご紹介いたします。

最後に、応募していただいた皆様、審査にご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。

福岡県木造・木質化建築賞

【表彰の目的】

県では、充実した森林資源を有効に活用し、森林の世代サイクルの回復を図るため、住宅や公共建築物等における木材の利用や、県有施設の木造・木質化を積極的に推進しています。

そのような中、県産木材の需要拡大の推進をより一層図るため、県民の皆さんや建築関係の方々に対し、木造・木質化に優れたモデル的な建築物を紹介し普及啓発することを目的に、本賞を実施しています。

【賞の対象】

県産木材の需要拡大を図るため、公共建築物や店舗・住宅等の木造・木質化を推進するにあたり、モデルとなる優れた建築物

【賞の部門】

○木造の部(大賞・優秀賞) ○木質化の部(大賞・優秀賞) ○特別賞 ○奨励賞

【主な選考基準】

- 国産材の特徴や良さを活かし、積極的に利用しているもの
- 木造・木質化建築のデザインとして優れているもの
- CLT等を活用した建築物により新たな木材需要の創出に寄与しているもの

【選考委員】

役職名	氏名	職名
委員長	藤本 登留	九州大学大学院農学研究院准教授
副委員長	大森 洋子	久留米工業大学 建築・設備工学科教授
委員	工藤 卓	元近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授
委員	土師 淳志	(一社)福岡県木材組合連合会 専務理事
委員	長谷川 彰	西日本新聞社編集局編集企画委員長
委員	今泉 正彦	福岡県農林水産部林業振興課長

木造の部 大賞

めぐみ

聖恵ビハーラ

所在地:古賀市



建築主 | 医療法人社団^{めぐみ}聖恵会 理事長 安松聖高
設計者 | 株式会社アーキポット 亀山史子
施工者 | 亀山建設株式会社 代表取締役 亀山直央
建築物の用途 | 緩和ケア病棟
構造・規模(階数) | 木造・地上2階
延床面積 | 1898.93㎡

設計趣旨 | ビハーラとは寺院あるいは安住の場所を意味する。聖恵ビハーラ建設においては、緑豊かな周辺環境との調和と、木の持つ視覚・触覚・香りの癒し効果の有用性から木造が最適と考え、燃えしろ設計による準耐火構造として無垢材架構現しの木造病院建築を実現させた。宮大工の手も入った伝統的な木造の技法を取り入れつつ耐震・耐火・遮音など諸性能を高める工夫を施している。また、すべてのベッドから緑の景観を臨めるよう窓の配置に留意し、中庭・専用庭の作庭や古墳山の整備にも力を入れた。





写真撮影：松竹写真事務所・ARM

講評

木造2階建ての緩和ケア病棟建築です。既存の樹木を景観木として残すために建築物の平面構成をV字型に計画しており、敷地および背後の照葉樹林等の樹木を病室から望むことができます。V字の中には屋外での耐久性を考慮して保存処理された木製デッキを敷き込み、患者が屋外に簡単に出ることができる中庭が配置され、そこで四季を存分に感じることができます。病室には家族が寄り添うことができる畳の小上がりも設置され、木製の建具で治療器具が目立たなくする気配りなど、患者やその家族の気持ちに配慮した設計が印象的です。大断面構造材を利用した燃えしろ設計（準耐火構造）とし、優良ヒノキ等無垢材で耐震、耐火、遮音の機能とともに、高い意匠を有しています。日本では病院建築で木造・木質化事例は非常に少ないのが現状です。この作品は、病院建築の木造・木質化の普及につながる先進事例として高く評価できます。



木質化の部 大賞

八女の家 所在地:筑後市



建築主 | 個人
設計者 | マツダグミ一級建築士事務所 松田満成
施工者 | 株式会社ツカサホーム
建築物の用途 | 住宅
構造・規模(階数) | 木造・地上2階
延床面積 | 128.29㎡

設計趣旨 | 住宅は長い時間を過ごす場所となるため、木を中心にしつくいなどの自然な材料を主に使用した。特に2階に配置したリビングは、家具や建具も木の良さを活かすように計画し、製作は現場から近いこともあり大川の職人をお願いをした。建物の構成としては、耐力壁を合理的に配置した木造のBOXを北と南に計画し、その間をブリッジのような形でつないだ。天井を貼らず木ルーバー越しに木の架構が見えるようにし、木造ならではの軽さと空間性を表現した。





写真撮影:大野博之

講評

地元の木材加工技術を活かした木質部屋を持つ、木工産地「大川」の技術により木の良さを最大限に引き出した2階建て木造住宅です。家族が集まる2階中央の部屋の天井に、スギのルーバーを使い、対面配置した開口窓にスギの格子戸を設置することで和の趣を醸し出しています。一方、壁には黒色に塗装したスギを使用することでスタイリッシュな印象の部屋に仕上がっています。床には厚物のスギ無垢材が使われ、冬でも素足で過ごせるほど冷たさを感じません。家具建具等の木工の町で有名な大川の職人の協力を得て、スギの天井ルーバーや格子戸を居室にうまく使う事で、これまでの住宅にはない雰囲気を出すことに成功しています。本作品の木質化技法は、今後とも需要が見込まれている古いマンションや住宅のリノベーション分野での、スギなどの国産材を活かす有効な手法になることが期待されます。特に、利用促進が求められる大径化が進むスギから木取りやすい無節化粧材の高付加価値利用につながる作品と思われる。



木造の部 優秀賞

福岡海星女子学院 アシジハウス

所在地:福岡市南区



建築主 | 学校法人福岡海星女子学院 理事長 嶋田吉勝
設計者 | 株式会社志賀設計 代表取締役社長 八島英孝
施工者 | 株式会社安恒組 代表取締役社長 安恒寿人
建築物の用途 | 学校(アクティブ・ラーニングホール)
構造・規模(階数) | 木造・地上1階
延床面積 | 342.57㎡

設計趣旨 近年、木造建築の減少や内装制限等法的な要求から、内部空間に木をふんだんに使用した建物が少なくなっている。アシジハウスで学ぶこともたちに、木の温もりや匂い、柔らかさを体感して欲しいという想いから木造を選択した。平面形状を構成する3つの円の内、2つからなるホールはアクティブラーニングをはじめ、多様な教育形態に対応した空間である。構造上必要な柱を幹に、方杖を枝に見立て、木立の中に居る様な内部空間を創出している。日本で古くから親しまれる木造建築と、カトリックの精神を描いたステンドグラスが調和した、新たな海星女子学院の形となることを図った。



講評

幼稚園、小学校、高校の共同の教育施設となる木造多目的ホールです。アクティブラーニングをはじめ、多様な教育のための空間を曲線的に創り上げています。スギ集成材の大径柱を屋内外周部に現して配置し、スギ湾曲集成材の梁を支えています。天井の木製ルーバーは波打つように配置し、ダイナミックで温かみある魅力的な木質大空間になっています。外壁に沿って外周に配置した保存処理木製ルーバーは、外観的にも有機的な印象に包みこむ効果を持っています。RC構造の校舎群の中でシンボリックな建築になっています。

木質化の部 優秀賞

古賀ゴルフ・クラブ クラブハウス

所在地: 古賀市



建築主 | 古賀ゴルフ土地株式会社 代表取締役社長 田中優次
設計者 | 株式会社日建設計 フェロー役員 宮川浩
施工者 | 大成建設株式会社九州支店 執行役員支店長 寺本剛啓
建築物の用途 | ゴルフクラブハウス
構造・規模(階数) | 鉄筋コンクリート造+鉄骨造+木造・地上2階
延床面積 | 2,855.61㎡

設計趣旨

玄海灘を望む白砂青松の地にある日本屈指の名門ゴルフ場のクラブハウスの建替え。質実剛健を基本とし、ゴルフを愉しみ、交流し、歴史を積み重ねていく場として、木造・木質系仕上材を採用した。コースを望む2階レストランの屋根架構は、約23mスパンの屋根勾配に沿った集成材の登り梁の中央に、幹と枝に見立てた木柱を配置した。幹から大きく張り出した枝を表現するために、細い木材を湾曲させ、6本を1つに束ねた木柱で大空間を構成し、クラブハウスとして寛ぎ感のある空間を実現させた。

講評

玄海灘を望む白砂青松の地にあるクラブハウスです。2階の中央に位置する、最も広い大空間のレストランは、コースの緑に包まれた景観をパノラマで望めます。一面ガラス貼りの窓には深い軒を設け、そこから20m以上のスパンを持った登り梁を集成材でダイナミックに創り上げています。登り梁の中央部に6本の湾曲集成材を一つに束ねることで幹と枝に見立て、大空間を洗練されたデザインに上げています。梁や柱を淡い白に着色し、テーブルや椅子を深い濃色でそろえることで、メリハリのある爽やかで開放的な空間にしています。大スパン集成梁や長い湾曲集成柱の材料としては、強度性能に優れ、構造用集成梁用ラミナとして多用されているオウシュウアカマツが採用されています。

特別賞 (順不同)

うきは市営住宅 新治団地 所在地:うきは市

建築主 | うきは市
設計者 | 佐ト・凧設計共同体 代表 佐藤收
施工者 | 株式会社篠原工務所浮羽支店
取締役浮羽支店長 篠原祥一郎、
山崎建設株式会社 代表取締役 山崎繁美

建築物の用途 | 公営住宅
構造・規模(階数) | 木造・地上3階(一部2階)
延床面積 | 3,789.00㎡

設計趣旨

うきは市では、地域木材を活用して住宅等の新築や増改築などを行う者に対する助成や公共施設の木造化に取り組み、林業振興を推進している。当団地の建替工事にあたり、林業振興の面からも検討して、地域材を活用したぬくもりのある木造による3階建(一部2階)住宅建設とした。

講評

地域材を使った木造3階建ての共同住宅です。2階建てに比べ3階建て以上は壁量の増加による耐震性の確保や、耐火性能の確保などの制限が付きRC構造が多いですが、先行事例の視察などで対策をたて設計されています。材料調達をはじめ地域全体で意欲的に取り組んだ点は注目に値します。まだまだ3階建ての木造共同住宅の事例は少ないのが現状です。3階建ての木造共同住宅の普及促進、ひいては地域材の需要拡大、地域産業活性化に貢献する作品です。



株式会社大匠建設社屋

所在地:筑紫郡那珂川町

建築主 | 株式会社大匠建設 代表取締役社長 井上真一
設計者 | 株式会社BuRG
施工者 | 株式会社大匠建設
建築物の用途 | 事務所
構造・規模(階数) | 木造・地上2階
延床面積 | 400.16㎡

設計趣旨

建築主が環境経営に重きを置いていることから、新たな木材製品として注目されているCLT(Cross Laminated Timber(直交集成板))を用いた建築物とした。一階を地域貸し出しのコミュニティルーム、二階を事務所としCLTを現して用いることにより、一階二階ともに木材の暖かみを感じられる空間作りを徹底し、なおかつ杉の力強さを表現した。CLTで庇を造り直射日光を防ぐことで、夏涼しく冬は暖かいという極力エネルギーを使わない建物へ仕上げた。

講評

福岡県では初めてのCLT建築物です。木材を大量に使った厚物パネルであるCLTは断熱性に優れ、燃えしろ設計が可能で、施工の時間短縮に有利な面材料です。何よりも大量に地域材を使うことで地域産業の活性化、炭素固定に貢献できる材料です。高層建築も可能なCLTは、RC構造に対しLLCA(ライフサイクルアセスメント)評価においても優れているエコ材料といわれています。本建築物では、壁、床、屋根にスギCLTパネルを使用しており、また燃えしろ設計により、準耐火構造としています。さらに本建築物は内装面に現してCLTを使っており、CLT製造段階から節が少なくラミナを表層に配置するなどの工夫がされ、化粧性にも配慮された落ち着いた事務所空間を形成しています。

奨励賞

(順不同)

撮影:石井紀久



遠見ヶ鼻 海に見える休憩所

所在地:北九州市若松区

建築主 | 福岡県
 設計者 | 有限会社杉野建築設計事務所 取締役 杉野友紀
 施工者 | 藤建工業有限会社 代表取締役 進藤義信
 建築物の用途 | 休憩所
 構造・規模(階数) | 木造・地上1階
 延床面積 | 75.73㎡

設計趣旨

海岸近くの国定公園内における建物のため、自然環境との調和を考え設計した。外部は自然素材である荒れたもようの天然スレートを使っているが、内部は厳しい自然に対して守られているような温かい空間を演出したかったため、無垢の木材を使用している。参道に建つ建物であるため、鳥居の延長として視覚的に表現できないかと考え、木造のフレームを並べた工法を採用した。



医療法人平井医院 所在地:筑後市

建築主 | 医療法人平井医院
 設計者 | 株式会社松山建築設計室
 施工者 | 株式会社イノウエハウジング
 建築物の用途 | 診療所
 構造・規模(階数) | 木造・地上1階
 延床面積 | 244.89㎡

設計趣旨

本建物の周辺環境は、昔ながらの木造家屋によって風情ある町並みが形成されている。そのため、旧医院は鉄筋コンクリート造だったが、新医院は木造平屋で計画を行い、軒や縁側といった日本様式を持たせ、街並みに調和した豊かな景観を創造する事をテーマとした。

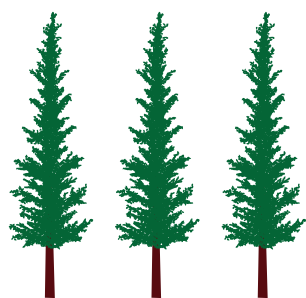


うきは市 浄光苑 所在地:うきは市

建築主 | うきは市
 設計者 | 株式会社梓設計 九州支社 設計部 石崎泰行
 施工者 | 前田建設工業株式会社 九州支店 支店長 永重雅守
 建築物の用途 | 火葬場
 構造・規模(階数) | 待合棟:木造・地上1階、火葬場:RC造・地上2階
 延床面積 | 2,114.39㎡

設計趣旨

うきは市営の火葬場施設である。火葬場は、施設の性格上RC造だが、内装に木材を積極的に利用するとともに、待合棟は、会葬者が心静かに待ち時間を過ごせるよう木造とした。構造体は別種としながらも施設としては、歴史ある同市の和風の雰囲気継承した一体感のある空間づくりを行った。木造の伝統的工法を採用しつつ、長寿命、メンテナンスフリーの材料選定を行っている。



2017 第4回福岡県木造・木質化建築賞

平成30年3月

福岡県農林水産部林業振興課木材流通係

TEL092-643-3536 FAX092-643-3541

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/mokuzou4kettei.html>

この冊子の用紙は、福岡県産の間伐材を使用しています。

福岡県行政資料	
分類記号 PF	所属コード 4701002
登録年度 29	登録番号 0004